

# 伝統農法が創る自然豊かな茶の聖地

東山大茶園 掛川市 ★世界農業遺産「茶草場農法」(2013年認定) ★令和2年度静岡県景観賞最優秀賞



2019年5月末にオープンした「茶草場テラス」。開放的な2階のパノラマテラスは山を吹き抜ける風が最高に心地良い。



1階にはカフェがあり、「かっぱしランチ」など地元食材を使った料理、自慢のお茶などが味わえる。

掛川市の北東部、栗ヶ岳の山麓に広がる東山地区は、上質な深蒸し茶の産地として知られている。緩やかな丘陵地に整然と広がる茶園は、緑の波のように美しく、清々しい。明治以降に茶栽培が盛んになった東山では、古くから茶畑の周辺に「茶草場」と呼ばれる半自然の草地を作り、そこで刈った草を干して茶畝の間に敷く「茶草場農法」が行われてきた。茶草は、冬は保温、夏は保水効果があり、養分の多い腐植土壌を生成。これが土壌へのCO<sub>2</sub>吸収を促し、生物多様性に富んだ環境も生み出す。SDGsにもかなう農法だ。東山地区は、世界農業遺産に認定された地域内で唯一、里全体で伝統農法に取り組み続ける「茶の聖地」でもある。

令和元年、巨大な「茶」の文字で有名な栗ヶ岳山頂に「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」が新装オープンした。茶草干しの「かっぱし」を模した建物はモダンで、開放感抜群。大茶園を中心に、駿河湾、伊豆半島、富士山まで一望できる大パノラマは壮観で崇高だ。

テラスを管理運営する(株)茶文字の里東山の田中鉄男さんは、「もっと茶の付加価値を高めながら、生産効率

だけが重要な訳ではないことを若手にわかってもらいたい。それが農法を伝承する力になると思えます」と語る。

里の人たちが誇りを持って守り続ける伝統農法が創る景観が、見る人の視線に触れるのは、そこに日本人の美意識やアイデンティティーを感じるからだろう。



「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」から望む東山大茶園。やはり茶畑が萌黄に染まる新茶の季節が最高だ。天気が良ければ、富士山、伊豆半島、伊豆七島(八丈島と伊豆大島は除く)も見渡せる。



山の麓にある「東山いっぶく処」。名物の茶文字まんじゅう、お茶や地元野菜、その加工品などを販売。ハイカーの拠点になっている。



愛称「かっぱしテラス」は、刈った茶草を束ねて干した「かっぱし」を模している。正月には、テラスの下に茶草で作った巨大な干支が飾られる。



伝統農法の継承に情熱を傾ける(株)茶文字の里東山の代表・田中鉄男さん。

## 目次

1	世界クラスの美しいふじのくに 東山大茶園
3	知事対談 スポーツで「好サイクル」を 室伏広治氏 スポーツ庁長官
7	世界クラスの魅力資源 伊豆半島に吹く熱い風 ジオパークの再認定を起点に 真の魅力を発信!
9	ふじのくにルネサンス 静岡県と市町の輝く未来のために ふじのくに 新・羅針盤
11	ふじのくにスタイル オープンイノベーションと オープンマインドで 世界をリード! SHOWCASEプロジェクト
13	ふじのくにブランド しらすチップス
14	ふじのくにライフスタイルで生きる 村上萌さん・近松歩さん
表紙の写真	第1回 絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト 絶景しずおか富士山部門 佳作 「夏ダイヤ2020」 八子 俊昇氏 撮影



栗ヶ岳の麓から山頂まではハイキングコースが整備されており、低山登山コースとして大人気。登りは約1時間かかるが、途中にはパワースポットも点在。



### 東山大茶園

掛川市東山1173-2(東山いっぶく処)

JR掛川駅から掛川バスサービス「東山線」で「東山」下車(約35分)

新東名高速道路・島田金谷IC、東名高速道路・掛川ICまたは相良牧之原ICより約30分

【お問い合わせ先】

株式会社茶文字の里 東山

☐ <https://www.higashiyama.cha.jp>

☎ 0537-27-2266 (東山いっぶく処)